



## 日本初のフレア・バーテンダー世界チャンピオン誕生 金城光浩選手が SKYY Flair Global Challenge 2008 のワールドチャンピオンに フレア・バーテンディング世界大会「SKYY Flair Global Challenge 2008 World Final」

モナコ・モンテカルロで開催されたフレア・バーテンディング(以下、フレア)世界最大規模の大会「SKYY Flair Global Challenge 2008」(以下、スカイグローバル)は、現地時間11月7日夜にファイナル、8日夜にグランドファイナルが行なわれ、日本を代表して出場した金城光浩(かねしろみつひろ)選手が日本選手として初めてとなる世界チャンピオンになりました。金城選手は日本最高峰の大会「全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップ」の2004年、2006年優勝者であり、国際大会で最も入賞歴の多い日本のバーテンダーのひとり。スカイグローバルには昨年に続いてワールドファイナルに出場し、昨年の5位を上回る日本初の世界王者という金字塔を打ち立てました

### 過去最高の世界3位を上回る快挙達成

日本のフレア・バーテンダーの世界進出は、2000年に現ANFA会長の北條智之、同相談役の石川廣幸に始まり、これまで2003年、2006年に世界大会「Legends of Bartending」(レジェンド)での岩本博義、前田知憲(ともひろ)が残した決勝3位が最高順位でした。

長らく日本からの世界チャンピオン誕生が待望されていましたが、本大会スカイグローバルでの優勝は日本代表選手として初の快挙です。

### 世界最大規模のフレア大会「SKYY Flair Global Challenge」アジア勢が躍進

本大会は「スカイウオツカ」が世界一のフレアバーテンダーを決める大会で、日本を含む世界各地で予選を行ない、11月にモナコ・モンテカルロで世界決勝が開催されました。日本では8月5日に東京・新木場のスタジオコーストで予選が行われ、去年に続き優勝した金城選手が世界決勝出場権を獲得していました。

金城選手は昨年もワールドファイナルで5位に入賞し、今年も活躍が期待されている中で本領を発揮し、世界チャンピオンを手中に収めました。

2位は、昨年優勝者であり長らく世界のトップに君臨するアルゼンチンのクリスチャン・デルペッシュ(Christian Delpech)選手、3位には韓国予選、アジア・パシフィック予選を勝ち抜いて出場したKIM DEA MIN選手が入賞し、世界のトップ3にアジアの選手が2名入る結果は、フレア・バーテンディング界における勢力図の大きな変化を感じさせるものとなりました。

### フレア世界大会「SKYY Flair Global Challenge」について

本大会は、「スカイウオツカ」のブランドを展開するカンパリ・インターナショナル社が主催し、運営を「ワールド・フレア・アソシエーション」(WFA)が協力するフレア世界大会で2007年の開催に続き今回が2回目。

「世界一のフレア・バーテンダーを決める」と銘打ち、日本のほかにはオーストラリア、中国、(日本・中国・オーストラリアを除く)アジア・パシフィック地域、カナダ、エクアドル、ドイツ、イスラエル、メキシコ、プエルトリコ、南アメリカ、イギリスで各国、各地域の予選が行われ、その規模は世界最大のものです。

日本では米国 Flair Bartenders Association (FBA) の「FBA PRP TOUR」最高レベルの大会「Legends of Bartending」および予選を含む規模では最大のスカイグローバル、毎月の予選を行ない11月下旬にワールドファイナルが行われるイギリスの「Roadhouse World Flair」(ロードハウス)を3大世界大会と認識しています。



SKYY Flair Global Challenge 2008  
ワールドチャンピオン 金城光浩(かねしろ・みつひろ)



生年月日: 1982年2月8日生まれ

略歴: T.G.I. フライデーズ横浜西口店勤務の2002年から頭角を現わし、同年全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップに初出場で4位。その安定性と完成度の高いフレアには定評があり、翌年から国内外のフレア大会で好成績を残す。2004年の全国制覇の後も大会出場を続け、全国チャンピオンシップでは唯一の2度優勝。国際大会の入賞数でも日本最高。

所属: ANFA 関東地区東京ブロック  
T.G.I. フライデーズ六本木店に勤務する傍ら、フレア・チーム「UPT RIP' S」(アップティーリップス)の一員としてカクテルショーでのパフォーマンスを行なっている。  
UPT-RIP' S ウェブサイト = <http://www.flair-upt.com/>

主な戦績: ANFA(FBA JAPAN 時代を含む)全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップ 2004年、2006年優勝  
T.G.I. フライデーズ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ 2004年優勝  
FBA QUEST 世界大会最高6位(2004年)  
FBA Legends of Bartending 世界大会 最高8位(2006年)  
SKYY Flair Global Challenge 日本予選 2007年、2008年優勝  
SKYY Flair Global Challenge 世界大会 2007年5位、2008年優勝



## 全日本フレア・バーテンダーズ協会 (ANFA=アンファ)について

### ■「正しいフレア文化を目指した組織」を目指して

ANFAは、2000年8月1日に現在の前身となる日本フレア・バーテンダーズ・ネットワーク(FBN)として発足しました。米国・ニューヨークを本部とする「フレア・バーテンダーズ・アソシエーション(FBA)」の会員登録日本人第1号である北條智之(現FBA JAPAN会長、「カクテルバー・マルソウ(横浜)」ヘッド・バーマン)、韓国スタイルのフレアを習得し、関西でそれを広めた石川廣幸(現FBA JAPAN相談役、TOPLEO Extreme Flair プロデューサー)、日本のT.G.I.フライデーズにフレアを伝えた久保田琢磨(現FBA JAPAN相談役、T.G.I.フライデーズ ゼネラル・マネージャー)の3人により「日本における正しいフレア文化の発展」という目的で発足したものです。

当時のFBNは、全国各地でテクニック講習会、アトラクション等でフレアを広める活動を開始。また、競技会開催に向けて、世界最大規模のフレア国際大会「2000 Quest for the Best Bartender in the World」に北條と石川が出場。久保田はT.G.I.フライデーズのフレア国際大会に出場しました。3人の海外経験をもとにスタートした「FBN 全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップ」は、FBA JAPAN を経てANFA全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップに名を変え、今年で第8回を迎えます。

### ■世界のトップレベルに躍り出た日本のフレア、FBA の日本支部として「FBA JAPAN」に改称

2002年10月頃には、FBNの活動と実績がFBAに認められ、石川(西日本代表)、北條(東日本代表)の2名がFBA日本代表者に決まりました。2003年3月、世界におけるフレアでの貢献を評価された石川、北條はFBAアワードの「FBA グロース部門」で表彰され、また、岩本博義が2003年に世界大会「Legends 5」(レジェンド)で世界3位に入賞し、日本のフレア躍進を世界に印象付けました。

2004年8月、FBNによるフレア文化の浸透と発展を目指した活動が評価され、FBNは正式に、FBAの日本支部としての活動を開始しました。同時に名称はFBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)となり、現在も世界レベルのフレア・バーテンディングとその普及を目指した活動を展開しています。

同じく2004年には、金城光浩選手が米国のレストランチェーン「T.G.I.フライデーズ」におけるバーテンダー世界大会で総合優勝し、翌年には相場雄希選手と2年連続で日本から世界チャンピオンを生み出しました。

また、2006年3月に開催されたフレア世界最高峰の大会「Legends 8」では、前田知憲の日本人では2度目の3位を含め4人の日本人がトップ10位に入り、過去最高の成績を収めました。2007年も成田栄治が4位に入賞、2008年もタンデム(2人組)部門で矢吹昌也・羽田善行ペアが準優勝するなど、近年の世界のフレアシーンにおいて日本人選手は目覚ましい活躍を見せています。

FBA JAPAN 公式ウェブサイト=<http://www.fba.jp>

### ■国際関係の強化を目指した再度の改称「ANFA」として更なる発展を目指す

2008年8月より、FBA JAPANはFBAと新興国際団体のWFA(World Flair Association)双方との友好関係、アジア諸国を中心とした関係強化を目指し、独立団体としての名称「ANFA(全日本フレア・バーテンダーズ協会)」に変更し、引き続き国内外でのフレアの普及とバーテンダーの地位向上に努めてまいります。



全日本フレア・バーテンダーズ協会 (ANFA=アンファ) 概要

正式名称: 全日本フレア・バーテンダーズ協会 (2008年8月1日にFBA JAPANから改称予定)

通称アンファ (ANFA=All Nippon Flair bartenders' Association)

本部事務局: 神奈川県横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル 1F カクテルバー・マルソウ内

TEL・FAX: 045-442-0446

広報本部: 東京都渋谷区広尾5-17-10 EASTWEST 2F THE PLACE 内

広報担当者直通 TEL: 070-5568-2719 (広報本部・長嶋宛)

主な役員:	会長	北條 智之 (カクテルバー・マルソウ)
	副会長	滝藤 育伸 (TATULA 代表)
	副会長	江田 毅寿 (ファンタジスタ代表)
	副会長 兼 事業本部長	逆瀬川 豊 (T.G.I フライデーズ・ジャパン)
	競技審査委員長	藤本 康弘 (ダーツバーBee 仙台店)
	競技運営部長	金城 光浩 (T.G.I フライデーズ六本木店)
	技術研究部長	茂呂 俊文 (ON THE SPREE)
	渉外本部長	渡辺 高弘 (京王プラザホテル)
	福祉厚生部長	江藤 大介 (ダーツバーBee 池袋店)
	国際本部長	根本 由美
	広報本部長	長嶋 宏明 (THE PLACE)

第8回 ANFA 全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップ オーガナイザー

久保俊之 (SHADOW BAR)

〒031-0033 青森県八戸市六日町8 やま正ビル 2F

主な活動:

- (1) フレアバーテンダーの育成
- (2) 正しいフレアバーテンダーの技術の向上と研究
- (3) フレアバーテンダー技能競技大会の開催
- (4) フレアバーテンディングの普及活動を目的とした講習会等の企画、実施
- (5) 酒販メーカー等と連動したフレアバーテンディングの普及活動
- (6) 海外のフレアバーテンダー及びバーテンダー組織との交流による情報交換
- (7) 関連団体との連絡協調
- (8) このほかこの団体が目的を達成するための事業

友好団体: 特定非営利活動法人プロフェッショナル・バーテンダーズ機構 (PBO)

URL: <http://www.pbo.gr.jp/>

関係団体: ワールド・フレア・アソシエーション (WFA) URL: <http://www.worldflairassociation.com/>

フレア・バーテンダーズ・アソシエーション (FBA) URL: <http://www.barflair.org/>



全日本フレア・バーテンダーズ協会 (ANFA) ロゴ

本件に関するお問い合わせは、ANFA (アンファ=全日本フレア・バーテンダーズ協会) 広報本部長 長嶋宏明まで

広報本部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-17-10 EASTWEST2F THE PLACE 内

TEL (長嶋直通): 070-5568-2719 E-Mail = [PR@fba.jp](mailto:PR@fba.jp) URL = <http://www.fba.jp>

本部事務局 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル1F カクテルバー・マルソウ内 TEL&FAX: 045-442-0446



## What is the Flair? フレア・バーテンディングとは “自己表現”を意味する Flair Bartending

### ●最古のフレアは 1849 年

フレア最古の記録は、1849年アメリカ・サンフランシスコはエルドラド・サロンのバーテンダー、ジェリー・トーマス氏が開発したカクテル「ブルー・ブレイザー」が始まりとされています。

19世紀後半にアメリカで活躍した伝説的なバーテンダーは、親しみを込めて“プロフェッサー”と呼ばれていました。カクテル「トム・アンド・ジェリー」や「マティーニ」の考案者としても噂される人物です。「ブルー・ブレイザー」とは、大ぶりの銅製マグを2個用意し、その一つにワイングラス1杯分のお湯と、もう一つの温めたスコッチに火をつけ、燃えさせたまま、お湯の入ったマグに注ぎ込み、またもとに戻す。これを4～5回、青い炎が流れるのを繰り返すというものです。

これが、フレア・バーテンディングらしき事をやっていたという最古の記録であるとされています。

### ●現代のフレア

現代の、グラスやボトル、ティンなどをスピンさせたりフリップさせたりするフレア・バーテンディングのスタイルと名称は、アメリカのバーテンダー、マイク・ワーナー氏により使われ始めたといわれています。

FLAIR“フレア”とは“アピール”や“自己表現”といった意味があり、バーテンダーがカクテルなどお酒をサービスする過程でお客様を楽しませる事を“フレア・バーテンディング”と呼んでいました。

マイク・ワーナー氏は、初めてゴリラの衣装を着てバーのカウンターに現れ、お客様の前でボトルやバーツールを回転させたりし、それらを巧みに扱い、火喰いショーまでやってみせて以来、フレア・バーテンディングの人気はうなぎ上りに高まったといわれています。

フレア・バーテンディングはその後、1988年にトム・クルーズ主演の映画『カクテル』によって世界の人たちの目に触れ、一躍知られるようになりました。この映画の舞台になったバーはニューヨークのT.G.I.フライデーズで、トム・クルーズにフレア・バーテンディングを指導したのはサンフランシスコのT.G.I.フライデーズのフレア・バーテンダー、ジョン・バーンディー氏です。

T.G.I.フライデーズは1965年に、1号店をニューヨークの63番通りファースト・アベニューにオープンして以来、現在650店舗以上のチェーン店として世界に拡大しています。

### ●日本でのフレア・バーテンディングの始まり

わが国でも映画『カクテル』の影響で、見よう見まねのフレア・バーが現れました。しかし、当時は一過性のブームとして消えてしまいます。正しいフレアが伝わらず、指導できるバーテンダーもいなかったためです。1990年代前半にも外国人たちが集まる酒場でグラスやボトルを回すバーテンダーが現れましたが、まだフレアというものを知る人はいませんでした。

1990年代後半、フレアが盛んな韓国やシンガポールなどでフレアを学んだバーテンダーや、ジャグリングなどを学びバーに立つ者が確認され、日本にもフレア・バーの足音が聞こえ始めました。

1997年5月、東京の芝浦に日本初と言われるフレア・バー、「ソウル・トレイン・カフェ」(1年後にソウル・スター・カフェに改称)が開店。1999年8月、フレア・バーの老舗で知られるT.G.I.フライデーズ・ジャパンの1号店が東京・渋谷にオープンしました。

現在の日本におけるフレア文化の礎となったFBN(FBA JAPANの前身)が発足したのは、その後2000年のことです。



## 日本人選手のフレア・コンペティション国際大会結果

開催年	大会名(開催地)	結果	出場者
2000	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	アジア大会初出場	久保田 琢磨
	クエスト・フォア・ザ・ベスト・バーテンダー・イン・ザ・ワールド (アメリカ・オランダ)	世界大会初出場	石川 廣幸 北條 智之
2001	ショーテンダー・インターナショナル・ バーテンディング・コンペティション(アメリカ・デンバー)	スピード部門優勝 フレア部門準優勝	岩本 博義
	クエスト・フォア・ザ・ベスト・バーテンダー・イン・ザ・ワールド (アメリカ・オランダ)	ルーキー部門 7位	岩本 博義
	バトル・オブ・バースターズ・ワールド・コンペティション (オランダ・クロスビーク)	総合6位	石川 廣幸
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	ポアテストラウンド 1位	逆瀬川 豊
2002	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ(アメリカ・ラスベガス)	FBA JAPAN 初出場	北條 智之 岩本 博義
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	総合準優勝	吉原 晋一
2003	第 9 回 金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	6位	北條 智之
	インターナショナル・バーテンディング・フレア・チャレンジ(グアム)	総合優勝	金城 光浩
		総合3位	滝藤 育伸
		ポアテストラウンド1位	江田 毅寿
	サザンコンフォート・バー・ショー・アワード(オーストリア)	5位	宇敷 勝己
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	総合優勝	金城 光浩
	インターナショナル・ミドリ・カップ	総合8位	長岐 崇
	<b>レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ</b> (アメリカ・ラスベガス)	<b>世界総合3位</b>	<b>岩本 博義</b>
FBA トリプルチャレンジ・オブ・バーテンディング (アメリカ・パナマシティ)	タンデム部門5位	石川 廣幸 北條 智之	
2004	ビッグ・アップル・ショー・ダウン (アメリカ・ニューヨーク)	総合8位	宇敷 勝己
	第 10 回金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	3位	金城 光浩
	アジア・パシフィック・バーテンダー・オブ・ザ・イヤー フレア部門(グアム)	3位	金城 光浩
	インターナショナル・バーテンディング・フレア・チャレンジ(グアム)	総合優勝	矢吹 昌也
	<b>TGI フライデーズ・ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ</b>	<b>ワールドチャンピオン</b>	<b>金城 光浩</b>
	インターナショナル・ミドリ・カップ (オーストラリア・メルボルン)	総合優勝	金城 光浩
	シャルトリュース・ミックスアビリティ&フレア・コンペティション (オーストラリア・メルボルン)	総合優勝	金城 光浩
	インターナショナル・マリブ・カップ(グアム)	準優勝	相場 雄希
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ(グアム)	総合優勝	相場 雄希
	FBA ハイスピリッツ・クエスト (アメリカ・オランダ)	プロ部門総合 6位	金城 光浩
アドバンスド部門総合 7位		市川 寛	



2005	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界 10 位	茂呂 俊文
	TGI フライデーズ・ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ	ワールドチャンピオン	相場 雄希
	ボルス・フレアテンディング・コンペティション 2005(香港)	8位	池田 知明
	パリ・フレア・オープン 2005(パリ)	6位	金城 光浩
		8位	市川 寛
	ビッグアップル・ショーダウン 2005(ニューヨーク)	9位	前田 慶裕
	金樽杯国際アワード・コンペティション フレア部門(台北)	アジアチャンピオン	中山 信祐
	クエスト 2005(アメリカ・オーランド)	4位	前田 知憲
		8位	茂呂 俊文
The FBA Blue Blazer(ラスベガス)	9位	岡沼 弘泰	
2006	レジェンド・オブ・バーテンディング・ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	<b>世界総合3位 (予選 2 位)</b>	<b>前田 知憲</b>
		6 位	前田 武頼
		8 位	金城 光浩
		9 位	茂呂 俊文
	第 12 回金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	4 位	小林 直樹
	キング・オブ・リング(アメリカ・ラスベガス)	タンデム部門 3 位	矢吹 昌也 羽田 善行
	ゴールド・シェイク・カップ(韓国)	タンデム部門優勝	矢吹 昌也 羽田 善行
	クエスト 2005(アメリカ・オーランド)	<b>世界総合3位</b>	<b>前田 知憲</b>
		4 位	成田 栄治
		9 位	前田 武頼
	ゴールデンカップ アワード フレア部門(台湾)	優勝	前田 知憲
		4 位	工藤 耕希
	ロードハウス ワールドファイナル	7 位	茂呂 俊文
		11 位	金城 光浩
	フレア・バーテンダーズ・コンペティション フレア・ショーダウン2(韓国)	優勝	金城 光浩
2 位		成田 栄治	
10 位		中山 信祐	
2007	レジェンド・オブ・バーテンディング・ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	<b>世界総合 4 位</b>	<b>成田 栄治</b>
		11 位	大田 浩司
	イントクシコロジー・チャンピオンシップ(アメリカ・サンノゼ)	フレア部門優勝	成田 栄治
		ミクソロジー部門優勝	久保 俊之
		ミクソロジー部門 2 位	北條 智之
	アジア・パシフィック・カクテル・コンペティション(シンガポール)	フレア部門 3 位	高野 勝也



	ネイションズ 2007(アメリカ・ラスベガス)	プロ部門 8 位	北野 浩二
		アドバンス部門 2 位	赤間 雅史
	SKYY グローバル・フレア・チャレンジ ワールドファイナル (モナコ・モンテカルロ)	決勝 5 位	金城 光浩
		10 位 レッドブル・オブ・ザ・マッチ 賞受賞	茂呂 俊文
2008	<b>レジェンド・オブ・バーテンディング・ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ</b> (アメリカ・ラスベガス)	タンデム部門 2 位	矢吹 昌也 羽田 善行
		ネイションズ 2007(アメリカ・ラスベガス)	プロ部門 8 位
	プロ部門 9 位		宇敷 勝己
	ロードハウス・ワールド・フレア アジアンファイナル(台湾)	優勝	宇敷 勝己
	SKYY グローバル・フレア・チャレンジ ワールドファイナル (モナコ・モンテカルロ)	ワールドチャンピオン	金城 光浩